

建物の価値を高める 一品一様のステンレス建具

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



6m曲げ加工機で規格外の特注品に対応

業務内容 職人集団が手がける 規格外の特注製品

昭和50年、「一瀬製作所」はステンレスの曲げ加工の技術を生かした建築金物の製作を主に創業した。同社が手がける製品はビルなどの大型建築物に取り付けられる規格外の特注製品。案件によっては数十万円単位の高額な製品もあり、同社の実績と高い技術力が窺える。

平成27年に2代目として就任した一瀬勇樹社長は、「お客様の要望に自信を持って応えられる、技術力を有する職人集団を目指す」を経営理念に、「個人作業に走ってしまいがちな職人を、会社という集団においても高い技術力を発揮できる存在にしていきたい」と語る。

強み 求められるイメージを 再現する高い技術力

同社の技術では曲げ加工の際に、材料の薄い板に溝を引いてから曲げることで、曲げ部分の間隔を狭くできる。スマートな印象にするため薄さが求められるような装飾金物のフレームなどで効果を発揮する。

競合他社が10mmの幅で曲げるところを、同社は5mm幅で曲げることが可能だ。通常、他社では溶接する5mm幅の製品を、同社では一枚板を加工して製作できるため軽量で材料費も抑えられる。丁寧な作業は製品の仕上がりに反映され、新規顧客の大半は街中にある過去に製作した製品を見て指名で依頼してくる。

動画活用 製作工程の映像化で 人材育成と付加価値向上

新入社員や若手社員の育成に向けて、製作工程の共通部分のマニュアルや、製作中

の手元を撮影した動画に解説を付けたものなどを作成した。

撮影した動画は営業の際に製作工程を説明するための営業ツールとしても活用している。完成品を見てもわからないことを、製作工程の動画で説明する。例えば溶接の工程では、まず溶接と呼ばれる溝を設けてから溶接をして強度を高めていることを動画化した。同社の高い加工技術を可視化した動画は、製品の高付加価値化につながった。手間を惜しまずに製作し、社員育成の教材を社外では製品の価値向上に役立てている。

後の展望 新たな市場へ向けて オンリーワンの技術売り込む

仕事量が建設業界の波に左右されるため、新たな取引先を開拓していく考えだ。これまではすべて受注生産のみだったが、在庫販売できる製品の扱いなどを目指している。平成29年には大規模展示会にも初出展し、100名を超える来場者が同社のブースを訪れた。うち数社とは具体的な商談も進めている。一瀬社長は「初出展ながら非常に手ごたえを感じる3日間となった。出展を通して自社の強みやアピールすべき点が見えてきた」と語り、今後も展示会出展などで自分たちを売り込む営業戦略を計画する。



大阪本社工場



鳥取工場（鳥取県境港市）

当社の歴史



昭和50年に大阪府寝屋川市で創業後、大阪府門真市へ拠点を移し昭和60年に設立しました。設立当初からステンレス製建具を中心に、建築装飾金物、特殊形状建具の製作を行ってきました。創業以来多くの単一オーダー品を製作してきた企画力と技術力で、お客様のあらゆるニーズにお応えいたします。

いちのせ はやき
代表取締役社長 一瀬 勇樹さん

<http://www.ichi.co.jp/>

主な事業内容

ステンレス建具の製作、建築装飾金物・特殊形状建具の製作、産業機械の筐体などの板金加工

主な取引先(納入先)

大手サッシメーカー、大手シャッターメーカーやその関連会社

- 住所 〒571-0017 門真市 四宮6-2-23
- TEL 072-881-7400
- FAX 072-881-7405
- 創業 昭和50年4月
- 設立 昭和60年4月
- 資本金 3,800万円
- 従業員 59名